

協定 仕様書	協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	2年度の主な実績	評価結果		市の評価																																																																																						
					市	委員会																																																																																							
政策的医療																																																																																													
協22 仕第7																																																																																													
	救急医療	24時間365日の第二次救急医療体制を組む 休日急病診療に協力する	・令和2年度も引き続き、地域医療機関(診療所など)に対し、当院における救急受け入れ可能診療科や当直・待機体制などの情報提供を行うなど連携を密に取り、診療所の診療時間内や休日急病診療の運用時間内の紹介患者診療時間の拡大(土曜診療の実施)等により、積極的に受け入れる。 ・常勤の救急担当医とともに当番制による内科外科医師の配置を充実させることにより、断らない救急を徹底し更なる患者の集客に努める。また、更なる連携強化を目的に救急隊と多治見市民病院の医師で定期的に症例検討会を開催していく。	地域医療機関への情報提供の実施状況 救急患者数 救急搬送件数 救急医療体制の状況 休日急病診療実績	・救急科専任医師が総合診療内科医となり、当番制の内科外科医師、研修医も加わり救急搬送の受け入れ態勢が充実した。 ・多治見市消防との連携も症例検討会の開催など順調に行われ、救急搬送患者数は前年比341件の増加となる。 ・令和2年度の救急患者数は、新型コロナウイルスによる受診控え等により、7,411件で前年比12.7%減少となった。 ・土曜日の夜間(主に土曜19時～21時半)54日実施88人 ・休日急病診療(主に日祝の13時～17時)73日実施814人	<table><tr><td></td><td>30実績</td><td>元実績</td><td>2実績</td><td>前年比</td></tr><tr><td>時間外患者数</td><td>9,019</td><td>8,486</td><td>7,411</td><td>-12.7%</td></tr><tr><td>救急搬送件数</td><td>1,440</td><td>1,651</td><td>1,992</td><td>20.7%</td></tr></table>		30実績	元実績	2実績	前年比	時間外患者数	9,019	8,486	7,411	-12.7%	救急搬送件数	1,440	1,651	1,992	20.7%	○ (○)	○ (○)	①救急車の受け入れを積極的に行い、「原則受入れ」方針が徹底されてきている。年間救急搬送件数は1,992件で、前年度より341件増加した。令和2年度は、救急搬送全体の約38%を市民病院で受け入れている。 ②内科系医師、外科系医師、研修医の配置を充実させ、救急搬送の受け入れ体制を強化している。 ③新型コロナウイルスの蔓延による受診控えのため、患者数は前年度より減少したものの、休日急病診療、土曜の夜間の診療は着実に実施できている。																																																																					
	30実績	元実績	2実績	前年比																																																																																									
時間外患者数	9,019	8,486	7,411	-12.7%																																																																																									
救急搬送件数	1,440	1,651	1,992	20.7%																																																																																									
小児医療																																																																																													
	小児医療(小児救急医療を含む)を実施する	・日曜祝祭日も日直体制で小児科常勤医師を配置し、発熱、咳、下痢といった小児に多い急性疾患や地域の小児科医療機関からの紹介患者を積極的に受入れていく。また、風邪症候群といった小児に多い急性疾患から、増加傾向にある発達支援を要する自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害(ADHD)、学習障害などの疾患、夜尿症やてんかん、喘息やアトピー性皮膚炎などの疾患、またどこに相談してよいかわからない様々な子供に係るケース(不登校など)に対する医療を提供していく。 ・その他腎臓、神経、循環器、アレルギー、内分泌などの専門外来を予約にて行っていく。また、予防接種についても予約にて、幼児期のワクチンからインフルエンザワクチンまで積極的に行っていく。	患者数 土日及びオンコール等の体制整備状況	・土曜診療を実施し、発熱といった小児に多い急性疾患や地域の小児科診療機関からの紹介患者を積極的に受け入れた。また、日曜、祝日の8:30～17:00の間も、小児科医による日直体制を継続実施した。発達障害(自閉症、ADHD、学習障害など)に対して発達外来を設けて診療を行った。 ・日祝の8:30～17:00の間は小児科医による日直体制を継続して実施している。	<table><tr><td></td><td>30実績</td><td>元実績</td><td>2実績</td><td>前年比</td></tr><tr><td>小児外来患者数</td><td>15,352</td><td>13,647</td><td>9,132</td><td>-33.1%</td></tr><tr><td>小児入院患者数</td><td>2,404</td><td>2,118</td><td>712</td><td>-66.4%</td></tr></table>		30実績	元実績	2実績	前年比	小児外来患者数	15,352	13,647	9,132	-33.1%	小児入院患者数	2,404	2,118	712	-66.4%	○ (○)	○ (○)	①土曜診療と日祝の日直体制を実施しており、様々な急性疾患に関して365日積極的に対応している。 ②発達外来や神経疾患の治療、子どもの腎臓疾患の専門治療に向けた体制づくりも行った。 ③外来、入院ともに患者数が減少したのは新型コロナウイルスの影響によるところが大きい。 【委員会意見】 外来、入院ともに患者数が年々減少しているの で、要因を分析の上、今後の診療の対策としていただきたい。																																																																						
	30実績	元実績	2実績	前年比																																																																																									
小児外来患者数	15,352	13,647	9,132	-33.1%																																																																																									
小児入院患者数	2,404	2,118	712	-66.4%																																																																																									
リハビリテーション医療																																																																																													
	運動器リハビリテーション、回復期リハビリテーション医療を提供する	・令和元年より、リハビリテーション目的の転院依頼患者をリハ職員が訪問して状態確認を行っている。それによりリアルタイムの患者の状態や、ケアの状況、場合によって家族からの直接情報を伺うことができ、転院患者の早期受け入れにつながっている。令和2年は現状を継続しつつ、より多くの依頼が受け入れられるようにしていきたい。そして早期退院へ向けた適切なリハビリテーションの提供ができるよう職員スキルのベースアップを図りたいと考える。	リハビリテーションの体制 リハビリテーション実施件数	昨年度はコロナの影響により一時心疾患リハビリの外来が減少した。しかし入院患者へのリハビリの提供量を充実させることで前年度より件数及び単位数が増加した。 回復期リハビリテーション病棟においては5月より病床数を40床から50床へと増床した。そのため、回復期リハは40,393単位から44,572単位へと増加した。また、延べ患者数については昨年度の52,298件から55,613件へと増加した。	<table><tr><td colspan="6">※数値は単位数(1単位20分)</td></tr><tr><td>種類</td><td></td><td>29</td><td>30</td><td>R元</td><td>R2</td></tr><tr><td rowspan="2">運動器リハビリ</td><td>理学療法</td><td>12,178</td><td>12,078</td><td>13,331</td><td>15,599</td></tr><tr><td>作業療法</td><td>2,035</td><td>2,699</td><td>1,607</td><td>1,411</td></tr><tr><td rowspan="3">脳血管リハビリ</td><td>理学療法</td><td>5,587</td><td>3,116</td><td>3,798</td><td>2,734</td></tr><tr><td>作業療法</td><td>3,332</td><td>2,263</td><td>2,903</td><td>2,250</td></tr><tr><td>言語聴覚療法</td><td>5,020</td><td>3,147</td><td>3,782</td><td>3,430</td></tr><tr><td rowspan="3">廃用リハビリ</td><td>理学療法</td><td>8,764</td><td>11,765</td><td>12,411</td><td>13,444</td></tr><tr><td>作業療法</td><td>2,288</td><td>1,703</td><td>1,899</td><td>1,631</td></tr><tr><td>言語聴覚療法</td><td>4,004</td><td>5,733</td><td>7,225</td><td>7,754</td></tr><tr><td colspan="2">がんリハビリ</td><td>1,134</td><td>1,751</td><td>1,614</td><td>1,797</td></tr><tr><td colspan="2">心疾患リハビリ</td><td>2,573</td><td>7,963</td><td>10,100</td><td>9,300</td></tr><tr><td colspan="2">回復期リハビリ</td><td>31,943</td><td>34,078</td><td>40,393</td><td>44,572</td></tr><tr><td colspan="2">呼吸器リハビリ</td><td></td><td>571</td><td>624</td><td>1,229</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>78,858</td><td>86,867</td><td>99,687</td><td>105,151</td></tr></table>	※数値は単位数(1単位20分)						種類		29	30	R元	R2	運動器リハビリ	理学療法	12,178	12,078	13,331	15,599	作業療法	2,035	2,699	1,607	1,411	脳血管リハビリ	理学療法	5,587	3,116	3,798	2,734	作業療法	3,332	2,263	2,903	2,250	言語聴覚療法	5,020	3,147	3,782	3,430	廃用リハビリ	理学療法	8,764	11,765	12,411	13,444	作業療法	2,288	1,703	1,899	1,631	言語聴覚療法	4,004	5,733	7,225	7,754	がんリハビリ		1,134	1,751	1,614	1,797	心疾患リハビリ		2,573	7,963	10,100	9,300	回復期リハビリ		31,943	34,078	40,393	44,572	呼吸器リハビリ			571	624	1,229	合計		78,858	86,867	99,687	105,151	○ (○)	○ (○)	①令和2年6月から回復期病床を40床から50床に増床し、県病院からの回復期患者の受け入れも積極的に行った。 ②回復期リハビリの実施件数が年々増加している。平成29年度から開始した心疾患リハビリは令和2年度は若干の件数が減少した。 ③平成30年度に施設基準を満たした呼吸器リハビリについても積極的に実施し年々増加している。 ④新型コロナの影響下にあっても、全体として前年を上回る実施件数となり、急性期から回復期まで状態に合わせたリハビリテーションを提供している。
※数値は単位数(1単位20分)																																																																																													
種類		29	30	R元	R2																																																																																								
運動器リハビリ	理学療法	12,178	12,078	13,331	15,599																																																																																								
	作業療法	2,035	2,699	1,607	1,411																																																																																								
脳血管リハビリ	理学療法	5,587	3,116	3,798	2,734																																																																																								
	作業療法	3,332	2,263	2,903	2,250																																																																																								
	言語聴覚療法	5,020	3,147	3,782	3,430																																																																																								
廃用リハビリ	理学療法	8,764	11,765	12,411	13,444																																																																																								
	作業療法	2,288	1,703	1,899	1,631																																																																																								
	言語聴覚療法	4,004	5,733	7,225	7,754																																																																																								
がんリハビリ		1,134	1,751	1,614	1,797																																																																																								
心疾患リハビリ		2,573	7,963	10,100	9,300																																																																																								
回復期リハビリ		31,943	34,078	40,393	44,572																																																																																								
呼吸器リハビリ			571	624	1,229																																																																																								
合計		78,858	86,867	99,687	105,151																																																																																								
保健衛生事業																																																																																													
	生活習慣病の予防・早期発見を目的とした人間ドック、内視鏡ドック、健康診査、保健指導、医療相談等、保健衛生に関する事業を実施する 乳房、骨密度など女性を対象とした検診を実施する 予防接種を行う	・令和元度は多治見市の子宮がん検診対象者を拡大したことから希望者が殺到し、検診期間を1ヶ月延長して11月末まで実施することができた。その影響もあり、例年10月頃から閑散期の兆候がみられ予約が減少するところ、令和元年は12月過ぎまで予約がいっぱいの状況だった。 ・平成29年度から実施している「ふるさと納税」では、「人間ドック」と「乳がんドック」の2項目で進めてきたが、令和元年度は新たに「子宮がんドック」と「肺がんドック」の2項目を追加した。健康に意識が高い多治見市として、多くの方に認識していただけるよう、今後もしろいろな方法でPRを行っていく。	健診等の実施件数 保健指導・相談件数 予防接種の実施状況	受診者件数は毎年約1,000件の増加を続けてきたが、令和2年度は新型コロナウイルスの度重なる緊急事態宣言の影響から、受入を停止せざるを得ない期間もあったが、受診者に時間を厳守してもらうことで効率性を高め、回転を良くすることで安全に受診者数を確保し同数の受診者数を維持することができた。また、閑散期には特定健診を受診された方向けに、健診項目を増やしたお得なプランを用意し多くの受診者を確保した。	<table><tr><td>項目</td><td>29年度実績</td><td>30年度実績</td><td>R元年度実績</td><td>R2年度実績</td></tr><tr><td>人間ドック</td><td>348</td><td>348</td><td>345</td><td>268</td></tr><tr><td>脳ドック</td><td>371</td><td>537</td><td>490</td><td>142</td></tr><tr><td>その他ドック</td><td>200</td><td>153</td><td>197</td><td>172</td></tr><tr><td>企業健診</td><td>3,241</td><td>3,819</td><td>4,154</td><td>4,438</td></tr><tr><td>協会健保</td><td>2,457</td><td>2,712</td><td>2,827</td><td>2,771</td></tr><tr><td>健康診断</td><td>184</td><td>185</td><td>173</td><td>147</td></tr><tr><td>特定健診</td><td>926</td><td>1,018</td><td>853</td><td>783</td></tr><tr><td>市職</td><td>772</td><td>774</td><td>769</td><td>781</td></tr><tr><td>子宮がん検診</td><td>415</td><td>315</td><td>871</td><td>756</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>770</td><td>779</td><td>755</td><td>1,154</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>193</td><td>222</td><td>350</td><td>404</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>282</td><td>239</td><td>340</td><td>463</td></tr><tr><td>その他検診</td><td>272</td><td>254</td><td>311</td><td>322</td></tr><tr><td>合計</td><td>10,431</td><td>11,355</td><td>12,435</td><td>12,601</td></tr></table> 保健指導件数 71 特定保健指導件数 11	項目	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度実績	人間ドック	348	348	345	268	脳ドック	371	537	490	142	その他ドック	200	153	197	172	企業健診	3,241	3,819	4,154	4,438	協会健保	2,457	2,712	2,827	2,771	健康診断	184	185	173	147	特定健診	926	1,018	853	783	市職	772	774	769	781	子宮がん検診	415	315	871	756	乳がん検診	770	779	755	1,154	大腸がん検診	193	222	350	404	胃がん	282	239	340	463	その他検診	272	254	311	322	合計	10,431	11,355	12,435	12,601	○ (○)	○ (○)	①健康診断後の保健指導を実施し、市民の健康維持への貢献を進めている。 ②新型コロナの影響により4月・5月はドックを休診しなければならなかった状況にも関わらず、その後受診者を確保するために工夫を重ねた結果、前年度を上回る受診者数を確保できたことは評価に値する。 【委員会意見】 乳がんドックや肺がんドックの実施件数も明記していただけると良い。										
項目	29年度実績	30年度実績	R元年度実績	R2年度実績																																																																																									
人間ドック	348	348	345	268																																																																																									
脳ドック	371	537	490	142																																																																																									
その他ドック	200	153	197	172																																																																																									
企業健診	3,241	3,819	4,154	4,438																																																																																									
協会健保	2,457	2,712	2,827	2,771																																																																																									
健康診断	184	185	173	147																																																																																									
特定健診	926	1,018	853	783																																																																																									
市職	772	774	769	781																																																																																									
子宮がん検診	415	315	871	756																																																																																									
乳がん検診	770	779	755	1,154																																																																																									
大腸がん検診	193	222	350	404																																																																																									
胃がん	282	239	340	463																																																																																									
その他検診	272	254	311	322																																																																																									
合計	10,431	11,355	12,435	12,601																																																																																									

協定 仕様書		協定、仕様書の内容	事業計画書の内容	評価対象事項	2年度の主な実績	評価結果		市の評価
						市	委員会	
		災害時医療 災害発生時に被災地内の傷病者等の受入れ及び搬出並びに被災地への医師・看護師の派遣が可能な体制の整備に努める	・災害時医療に対するマニュアルを整備し、医療従事者に対し年間を通して定期的に災害医療に対する研修を行う。 ・災害発生時に必要な救急用医薬品、衛生材料及び医療機材、トリアージタグ等の整備し、災害時における救護班の編成及び傷病者の受入れが速やかに行えるよう医療要員の非常参集体制を構築する。	研修の実施状況 訓練の実施状況	・災害時医療の拠点病院として、ヘリポートをはじめ必要な診療設備を整備し、災害発生時には被災地内の傷病者の受け入れが速やかに行えるように医療従事者に対して災害医療に関する研修を実施。 ・災害発生時に必要な救急医薬品、衛生材料及医療器材、トリアージタグ等を備蓄している。	○ (○)	○ (○)	①トリアージ訓練、災害医療に関する研修を随時実施し、災害時に備えた対応を行っている。 ②救急医薬品、衛生材料等を備蓄し、災害に備えた体制を整備している。
地域医療連携								
協23		地域医療機関との連携・協力、地域医療の質向上のための取組み						
仕第8	地域医療連携室を設置する	左記の協定事項の着実な実施	紹介患者数(率)	・紹介率34.8%、逆紹介率 25.5%。 ・実習受け入れ(中京学院大学看護学科28人、多治見市医師会准看護学校122人、中部学院大学16人、東濃看護専門学校60人、岐阜医療科学大学42人、あじさい看護福祉専門学校158人) ・年間を通して研修医延べ12名、医学生延べ23名受け入れ。 ・R1.4月より基幹型研修病院となり、研修医2名が入職。計研修医3名となる。 ・多治見准看護学校に職員派遣(5人33回) ・地域連携バスの件数:脳卒中47件、大腿骨6件 ・開放型病棟の実績:0件	○ (△)	○ (△)	①地域連携課を通して、開業医との信頼関係を構築している。近隣の主要な病院とは地域連携パスを通じて転院の受け入れ、紹介を行っている。 ②基幹型研修病院となってから、積極的に研修医の受け入れを行っている。 ③実習生の受け入れ、准看護学校への職員派遣などを通して、地域に貢献した。 ④紹介率・逆紹介率は目標値に達していないものの、それぞれ前年よりも4.5%、3.9%上昇し、地域の医療機関との連携に努めているため、評価は○とした。 【委員会意見】 県立多治見病院や地域の医療機関との更なる連携強化に努めていただきたい。	
	患者や市民への地域医療に対する啓発活動、情報提供活動等、地域医療全体の質を向上させる取組みを行う	開業医との信頼関係醸成(時間外の紹介、CT、MRI等の対応)	実施した啓発活動					
	医師、看護師、医療技術職員等の養成課程等のための実習及び研修病院として、学生等の受入れを積極的に行う。	目標値として紹介率40.0%、逆紹介率35.0%	実習の実績(対象、受入人数、実習内容等)					
	研修医の実習場所として、取り組む		職員の派遣実績					
	養成学校等に職員を講師として派遣する		症例検討会等の実施実績					
	開業医との症例検討会等を実施し、地域の医療の質の向上に努める							
市民参加の促進								
	医療情報、経営情報等の情報公開の推進を図る 							